

5 - 8 潮位解析から見た御前崎の沈下 (1958 ~ 85)

Crustal Subsidence of Omaezaki - Analysis of Tidal Records for 1958 - 85

気象研究所

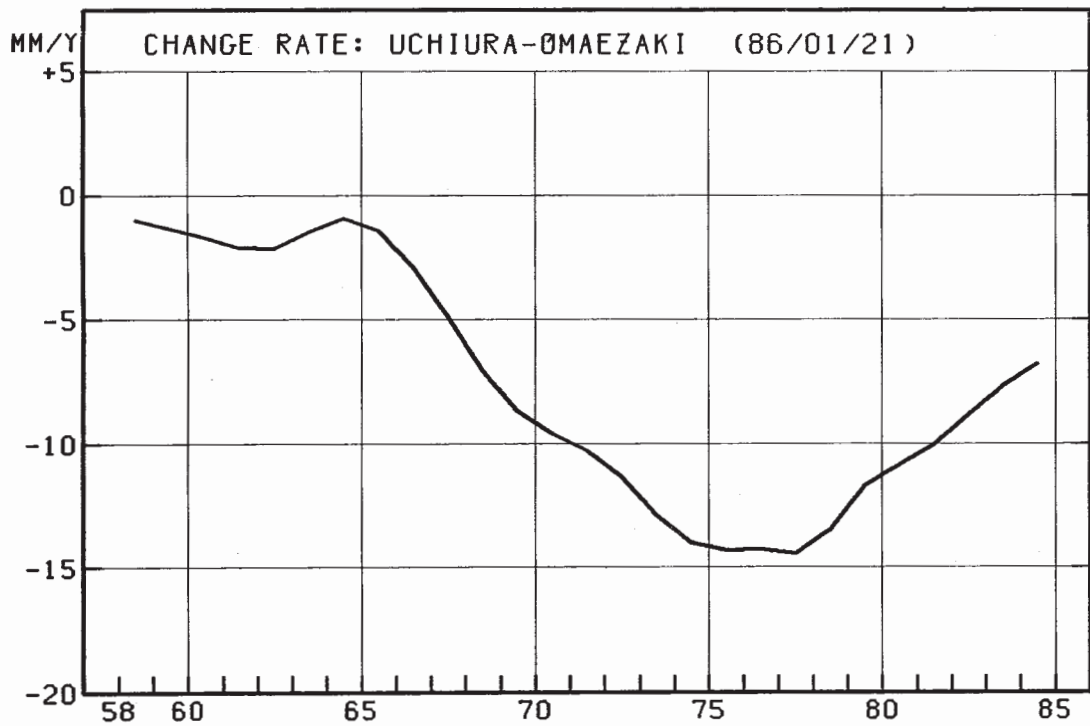
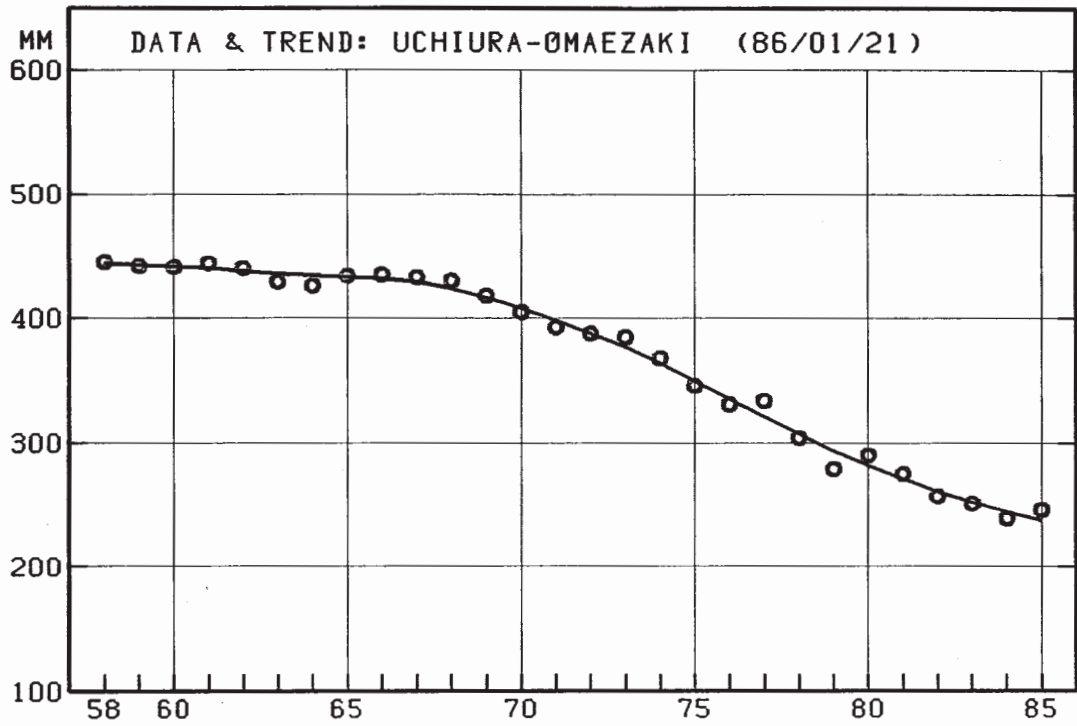
Meteorological Research Institute

御前崎の水準変化を調べるために、1985年のデータを追加して、内浦・御前崎の潮位差などの解析を行った。解析方法は昨年までの報告と同じである。

第1図(上段)に内浦・御前崎の潮位差を示すが、御前崎の沈下は依然として続いている。しかし、沈下速度(第1図下段)は1978年ころから徐々に遅くなり、最盛期の半分程度である。

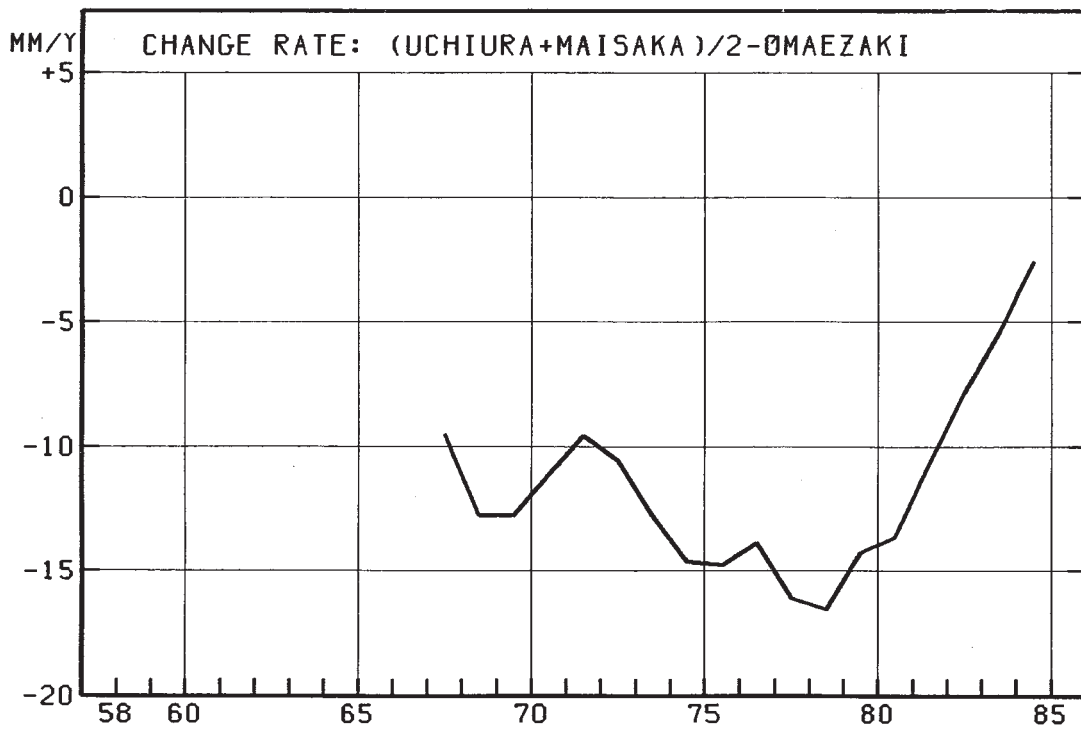
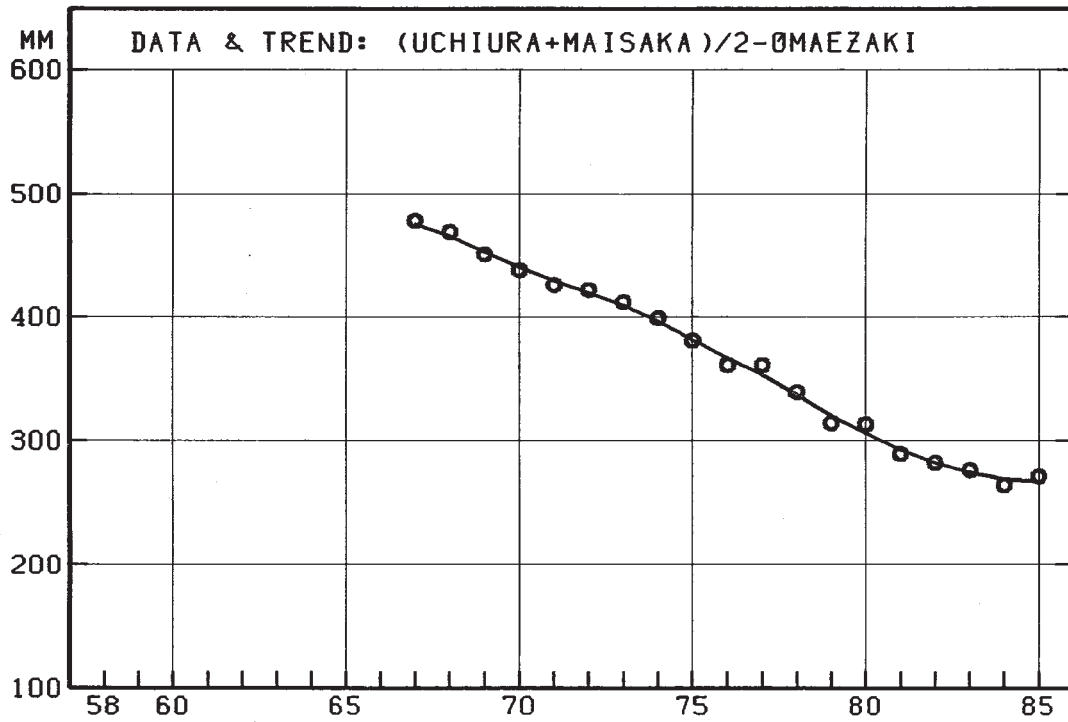
第2図は、(内浦・舞阪の平均)と御前崎との潮位差であるが、1972年ころまでは浜名湖入口の工事の影響を受けている。データの期間が短いこともあって、ここ数年間に沈下速度の低下が著しい。

(岡田 正実)



第1図 内浦・御前崎の年平均潮位差（上段）およびその平滑曲線から求めた変動速度（下段）。

Fig. 1 Differences in yearly mean sea level at Uchiura and Omaezaki (upper) and changes in subsidence rate at Omaezaki computed from the trend of mean sea level differences (lower).



第2図 (内浦, 舞阪の平均) と御前崎との年平均潮位差 (上段)
 およびその平滑曲線から求めた変動速度。

Fig. 2 Differences in sea level between the mean of Uchiura and Maisaka and Omaezaki (upper) and changes in subsidence rate at Omaezaki (lower).